

☆あずまっ子通学合宿☆

～地域で子どもの「生きる力」を育む～

●問合せ先 協働推進課コミュニティ推進係 72-2111内線252



10月21日から25日までの4泊5日間、ひまわり館東野で「通学合宿」が実施されました。参加した児童は東野小学校の4年生～6年生の児童19人。いつもは家族がやっている、食事作りや掃除などを自分の力でやらなければなりません。今回はそんな活動の様子を紹介します。

～通学合宿とは～

通学合宿は、子どもたちが親元を離れ、異年齢の集団で、地域の公民館などに宿泊まりしなから、学校に通う生活体験です。期間中、料理や掃除など身の回りのことを自分で行うことで生きる力を養うとともに規則正しい生活習慣の定着、自主・自立性の育成、集団生活の中での協調性の向上などを目的としています。

この事業は、教育力向上県民運動推進事業の一環として、県が推奨しています。小郡市内では、味坂・御原・立石小学校区で実施されており、東野小学校区では、今回が初の試みとなりました。

～家族の大切さ

・感謝の心～

合宿中は原則、参加児童とその家族は顔を合わせたり、電話をしたりできません。

家族を離れて自分たちの力で生活することにより、改めて親や家族の大切さに気付き、感謝の心を持つようになります。

また、保護者も子どもへの愛情を再確認することができ、家庭教育を見直す良い機会になります。

～地域で子どもを育む～

この通学合宿は、東野小学校区の区長などの地域の方で結成したあずまっ子通学合宿実行委員会の主催で実施されました。

実行委員以外の地域の方もスタッフとして、子どもたちと料理を作ったり、勉強を見たりするなどさまざまな活動で子どもたちをサポートしました。

その中でも、地域の方の家に入浴させてもらう「もうい湯」では、日ごろ接することが少ない子どもたちとの交流を深めることができた地域の方も喜んでいました。

この通学合宿を終えて、日ごろは地域の方と接することが少ない子どもたちも、一緒に食事をしたり、勉強を見てもらううちに、顔見知りになり、日ごろからあいさつをしたり、会話をしたりと地域での新たなつながりができています。

そして、この通学合宿は、地域の方にとっても「地域の子どもは地域で育てる」という地域の思いを、改めて実感させるものとなりました。

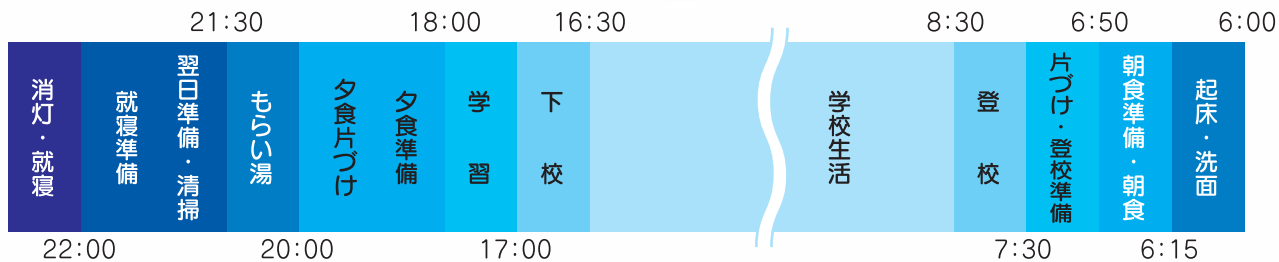
通学合宿中のスケジュール



食後の片付けも自分たちでしました。お家の人の大変さがわかりました！



みんなで元気に「いってきまーす!!」



買い物も自分たちでしました！材料代を考えながら食材選びするのは難しいなあ

今日のメニューはハンバーグ♪早く食べた〜い!!



みんなで食べるご飯は美味しいね！地域の方ともいろいろなお話をすることができました♪



宿題もいつもどおりします。地域の方に見守られながら、勉強！少し緊張気味です。



地域の方のお宅にもらい湯をしに行きました。初めは緊張したけど、温かく迎えていただき、とても楽しかったです。



身の回りのことを全部自分でしなくてはいけないので、もうへとへと。おやすみなさーい☆



通学合宿を終えて～子どもたちの感想～

- ・お母さんの大変さがわかりました。これからは家でも料理を作ったりお手伝いをしたいです。
- ・友だちと協力して、料理を作れて楽しかったし、いろんな人と仲良くなれたのでよかったです。
- ・来年も参加したいけど、小学校を卒業するので、スタッフとして通学合宿に参加したいです。